

2014年6月

●石和温泉再生可能エネルギー協議会 第1回研究会開催 (2014-6-2)

第1回研究会が5月21日(水)に笛吹市役所でおこなわれました。山下理事長の開会挨拶後、招待講演として「温泉熱を利用した温度差発電」と題して、慶應義塾大学環境情報学部武藤佳恭教授よりデモを中心に、温度差発電、振動発電、マグマ発電、横波スピーカーについての紹介がありました。また調査報告として REPA 奥村理事より「国の地熱発電施策と現状」の報告がありました。

●第9回定時総会 (2014-6-10)

6月7日(土)、東京千代田区の麹町区民館において開催されました第9回定時総会において、昨25年度活動報告、決算案、H26年度活動方針案、同予算案が満場一致で可決・承認されました。今年度の活動の倍旧のご支援、ご鞭撻を引き続きお願い致します。



佐藤代表理事報告

●講演会 (2014-6-10)

6月7日(土)定時総会終了後実施しました講演会は、武藤佳恭氏(慶応大学教授)のデモを駆使したアイデアたっぷりのもので、参加者の大半は目からウロコで、頭の活性化をうながしていただきました。また、今後の再生可能エネルギーの事業化等にも示唆する発言がいっぱいでした。講演後の懇親会にも25名の方に参加いただき盛会でありました。



武藤佳恭氏講演



懇親会集合写真

●REPA 情報交換会 常磐井守泰氏講演 (2014-6-16)

6月16日(月)18:30~20:30 麹町区民館にて、元電力中央研究所 常磐井守泰氏が福島県伊達市で柿の木の除染活動をされている内容の紹介が有り、その後当協会霊山水田除染チームとの意見交換が行われました。従来は柿の樹皮を剥がして除染し、柿の実のセシウム濃度を下げる手法がありましたが、柿の木を傷めると言う大きな問題が有りました。今回の常磐井守泰氏の技術は、さらし木綿等にセシウム吸着材をしみこませこれを柿の幹に巻きつけるものです。



元電力中央研究所 常磐井守泰氏



講演風景

●石和温泉再生可能エネルギー協議会 第1回研究会開催（2014年6月25日）

「石和温泉再生可能エネルギー協議会」第二回研究会が、6月25日（水）に石和温泉足湯ひろばで開催されました。当協会の代表理事佐藤茂夫の「手作りメタン発酵設備と農業分野での活用」の講演、市橋会員の調査報告「温泉熱利用による温度差発電」が行われ、活発な議論がなされました。また今後の街灯のLED化、いろいろなイベントの具体的な検討を進めることとなりました。